

北いわて最前線



祝 三陸ジオパーク 再認定

5億年に及ぶ
大地の歴史を刻む「三陸ジオパーク」。
2017年の「条件付き再認定」を経て、
2019年12月25日、
正式に再認定されることが決まりました。

普代村 黒崎



日本一広い「三陸ジオパーク」

ジオパークとは、「大地の公園」を意味し、地球(ジオ)を学び丸ごと楽しむことができる場所のこと。「三陸ジオパーク」は、青森県八戸市から岩手県沿岸を縦断し宮城県気仙沼に至る、総面積約6,000km²の日本一広大なジオパークです。

岩手県北エリアには小袖海岸(久慈市)や黒崎(普代村)など、多彩な海岸地形が生み出す美しい景観や、琥珀をはじめとする豊富な鉱物資源が見られるジオサイト(見どころ)が点在しています。

課題の改善を経て、2019年に正式に再認定

国内のジオパークは4年に一度、日本ジオパーク委員会によって再認定審査が行われます。初めての再認定審査となった2017年、地域や関係機関による三陸ジオパークの理解と活用が進んでいないことから、エリア全体が一体となった活動の必要性を指摘され、2年以内の改善を求める「条件付き再認定」となりました。

これを受け、三陸ジオパーク推進協議会が中心となり、地域ごとに協議会を設置し、ガイドの研修や交流会を開催するなど改善に取り組んできた結果、

2019年12月、正式に再認定が決定しました。日本ジオパーク委員会からは「復興で得た経験を国内外に発信してほしい」という期待も寄せられました。

県や推進協議会は、引き続き住民参加による意見交換会やガイド研修などを行うとともに、ユネスコ世界ジオパークの認定も視野に入れ、三陸ジオパークの一層の活用や三陸の観光資源としての魅力発信を行っていく予定です。皆さんもぜひ、再認定された三陸ジオパークへ出かけてみませんか。

contents

P.2 特集1

台風第19号の
被害からの復旧へ向け
全力で取り組み中!



P.4 特集2

歴史を学ぼう!
春のお出かけ
スポット



P.6 県北広域トピックス2020

復興に取り組みながら、
お互いに幸福を守り育てる
希望郷いわて



P.8 北いわて三大ミート

注目しよう! 食べてみよう!
北いわての
「3つの美味しいお肉」
[アンケート&プレゼント]



特集1

台風第19号被害からの復旧に向け 全力で取り組み中!

令和元年10月12日から13日にかけて岩手県に最接近した台風第19号の影響により、普代村においては県内最大の総雨量437ミリを記録するなど、観測史上類をみない未曾有の豪雨となり、沿岸地域を中心に広範囲に甚大な被害を及ぼしました。東日本大震災津波及び平成28年に発生した台風第10号災害の復旧復興に取り組んでいる最中の更なる大規模な災害となりましたが、一日も早い復旧を目指して取り組んでいきます。



道路の復旧状況

久慈地域では、県道角ノ浜玉川線（洋野町種市）、岩泉平井賀普代線・普代小屋瀬線（普代村普代地区ほか）などで道路陥没や山からの土砂流出により通行止めとなりました。

発災後、直ちに一般社団法人岩手県建設業協会との災害協定に基づいた応急工事や土砂撤去等を行い、普代村の二路線は復旧が完了しています。

角ノ浜玉川線は現在、片側交互通行が可能となっており、令和元年12月に国の災害査定（※）を受け

た他の被災7箇所とともに、これから復旧工事を進めていきます。（写真1）

河川の土砂撤去作業等

久慈管内の海岸線沿いに位置する中小河川を中心に、多数の箇所での護岸の崩落や堤防が削られました。

夏井川（久慈市夏井地区）や小屋畑川（同長内地区）では河川の増水により堤防が削られて、次の出水で更に削られる恐れがあるため、応急復旧（仮盛土）を行いました。（写真2）

久慈管内の県管理河川施設の被

災箇所全27箇所については、道路災害と同様に国の災害査定（※）後に、順次速やかに復旧工事を進めていきます。

小屋畑川や沢川（同新中の橋地区）では上流から流れてきた土砂が河道内に堆積したため、緊急的に土砂の撤去を行っています。（写真3）

また両河川とも、平成28年の台風第10号に引き続き、再び周辺の住宅地一帯に浸水被害が発生したことから、再度の災害を防止するため、河川改修事業等の計画について、調査・検討しているところです。

※災害査定：国の担当者に被害状況等を説明し、復旧方法や必要な経費について、確認を得ること。



【写真1】



角ノ浜玉川線の道路陥没



埋戻し・仮舗装完了済み

【写真2】



夏井川の堤防が削られた箇所



堤防の応急復旧（仮盛土）完了

【写真3】



沢川の堆積土砂撤去状況

インタビュー

三陸鉄道は 3月20日に 全線開通



三陸鉄道株式会社
中村 一郎 社長

Q 三陸鉄道リアス線は10月13日の台風第19号により、77箇所が線路被害が、16箇所が電力信号通信被害が発生しました。復旧工事の状況と、列車運行の再開の状況を教えてください。

A 沿線の中で盛一釜石間は被害が少なかったため、台風翌日に通常運転を、また、翌15日には宮古―田老間も臨時ダイヤで再開しました。

それ以外の区間は15日から代行バスを運行しましたが、便数が少ないので、日常的に利用する皆さんには御不便をおかけすることになります。そこで、早期に「運行可能な区間から順次再開」を目指し、比較的被害の少ない箇所から工事を実施。その結果、2月末時点で、普代―久慈間と釜石―陸中山田間以外は運行を再開することができました。

Q 地元住民のどのような声が励みとなりましたか。

A 地元住民の皆さんや、全国の方からたくさんのお見舞い・励ましのメッセージをいただきました。通学で利用している高校生や、台風前に震災学習列車に乗車したという沿線の小学生、三陸鉄道に乗った思い出がある方から「一日も早く全線で三鉄が走る姿を見たい」など多くの声が届いています。皆さんのこうした早期復旧への期待に答えるためにも、全線運行再開に向けて全社一丸となって取り組んでいるところです。



2月1日には普代―田野畑間が運行再開しました

Q 運行再開を目前に控えての思いをお聞かせください。

A 全線運行再開は3月20日を予定しており、2日後の22日には、東京オリンピックの聖火「復興の火」を宮古駅から釜石駅まで運ぶ予定です。また、23日はリアス線開通の1周年に当たりますので、20日を新たなスタートとし、地元や全国の皆さんに乗って楽しんでいただけるような鉄道を目指して頑張っています。

防災情報をチエックして避難対策



岩手県 河川情報システム

突然の災害から身を守るために、一人ひとりが積極的に情報を収集・確認することが重要です。

情報収集の手段の一つとして、情報サイト「岩手県河川情報システム」があります。これは、県内の約130箇所（県北管内53箇所）の河川の水位・雨量の状況を確認できるサイトです。トップページで見たい「地区」を選択すると、水位・雨量データのほか、大雨・洪水警報や土砂災害警戒情報の発表状況なども確認できます。



岩手県 河川情報システム
http://kasen.pref.iwate.jp



いわて モバイルメール

県や市町村が様々な情報を配信するサービスとして、「いわてモバイルメール」があります。配信情報には防災・災害情報や観光情報等があり、登録後、欲しい情報だけを選んでメールで受け取ることができます。

配信中の主なコンテンツは下記の通りです。

配信中の主なコンテンツ

- 防災・災害(久慈)
- 防災・災害(二戸)
- 防災・災害(盛岡)
- 道路・交通
- 県内の火山情報



岩手県 いわてモバイルメール 配信中のコンテンツ

危機管理型水位計

「岩手県河川情報システム」のサイトから、「危機管理型水位計」の情報も確認できます。危機管理型水位計とは、水位上昇時の水位観測に特化した水位計で、県内260河川・325箇所(県



1 川の水位情報にアクセスする。



2 確認したい地域の着色部分を拡大し、水位計アイコンを表示する。水位計が設置されている箇所にアイコンが表示されるので、これをタップする。



3 水位詳細画面が表示されるので、水位情報を確認する

北管内42河川58箇所)に設置され、昨年5月24日から運用されています。一般財団法人河川情報センターの「川の水位情報」で閲覧でき、利用方法は左の通りです。

なお、「川の水位情報」を利用するに当たり、いくつかの注意点がありますので、あらかじめ確認しておきましょう。

《利用上の注意》

- 観測値の即時性を重視しているため、異常値を記録した場合でもそのまま表示されます。また、地形や河道の変化等により、堤防と水面の位置関係が正しく表示されない場合があります。
- 危機管理型水位計のほとんどは、通常水位時は1日1回程度の観測です。水位上昇時は2〜10分間隔の観測値を表示します。
- 着色されていない地域には、危機管理型水位計を設置していないので、情報を確認できません。



川の水位情報
https://k.river.go.jp

県の台風第19号災害対応の主な事業(一般会計12月補正後)

①救助費 1,063百万円	災害救助法に基づき応急的に必要な救助を行うための経費
②被災者生活再建支援金支給補助 227百万円	被災者生活再建支援法適用外の世帯に対する支援金支給を実施する市町村への補助
③三陸鉄道運営支援事業費 670百万円	被災した三陸鉄道株式会社に対し、運賃収入の大幅な減少等に対応できるよう、運転資金の貸し付けを行うための経費
④地域企業再建支援事業費補助 720百万円	台風第19号災害により被害を受けた中・小企業の被災施設・設備の復旧等の支援に要する経費を補助
⑤被災農業者緊急支援事業費 131百万円	被災した農業者の早期営農再開に向けた復旧支援に要する経費
⑥水産業被災施設復旧整備事業費 303百万円	被災したサケ・マスふ化場等水産共同利用施設の復旧を支援する経費
⑦河川等災害復旧事業費 9,595百万円	被災した道路、河川等の公共土木施設の復旧に要する経費

※①③⑦の事業については、台風災害対応以外の経費も含まれています。

台風第19号の災害対策に要する 予算措置について

県では、台風第19号により被災した被災者の生活再建支援や、商工業・農林水産業の再開に向けた支援、道路河川等の復旧のため、令和元年度一般会計9月補正予算において、総額199億3100万円余の増額補正を行いました。また、12月補正予算では、台風第19号災害に係る国の被災者の生活となりわいの再生に向けた対策パッケージに呼応し、被災した三陸鉄道の支援に要する経費、地域のなりわい再生や落ち込んだ観光需要の早期再生に必要な経費、三陸鉄道の代行バスの運行経費に対する補助等に要する経費など、総額8億800万円余の増額補正を行いました。今後も国や市町村、関係機関・団体と連携し、被災者の視点に立った復旧・復興の取組を進めていきます。

特集2

歴史を学ぼう！ 春のお出かけスポット

この春は、「歴史を学ぶ」をテーマにお出かけしてみませんか。
お散歩気分を楽しめる県内外6つの歴史スポットを紹介します。



復元された土屋根の竪穴住居



広葉樹の森ではバードウォッチングも楽しめます



御所野縄文博物館では、一戸町内で出土した石器や土器、土偶などを展示



一戸町
ごしょのいせき
御所野遺跡

縄文時代にタイムスリップ

御所野遺跡には、縄文時代中期後半(約5000〜4200年前)の大規模なムラ(集落)の跡が保存されており、そこで暮らしていたことが分かっています。御所野遺跡を整備して作られた御所野縄文公園の園内に

人気の鼻曲がり土面です

御所野縄文博物館(御所野縄文公園)

岩手県二戸郡一戸町岩館字御所野2 ☎0195-32-2652
 園9:00~17:00(入館は16:30まで) 園月曜(祝日・休日の場合は翌日)、祝日・休日の翌日(土・日曜を除く)、年末年始
 園一般300円、高校生以下無料(展示室のみ、公園の入場は無料)

は、一戸町内で発掘された土器や土偶を展示する御所野縄文博物館があるほか、竪穴住居などが復元されています。

また御所野遺跡は、縄文時代のもので日本でも初めて土屋根の住居が見つかった場所です。これは、縄文史における大発見でした。博物館では発掘された様子も展示しています。

広大な園内には、ムラが営まれていた時代にあつたであろう広葉樹の森を復元。周囲に人工物もほとんどなく、縄文時代さながらの風景と空気を感ずることが出来ます。

頭に鳥の羽を付けたシャーマンの姿を描いたとされる「羽根付き縄文人」のレリーフ

こちらチェック!

世界遺産登録を目指す縄文遺跡の仲間たち

2021年の世界遺産登録を目指している「北海道・北東北の縄文遺跡群」。
御所野遺跡と共に構成資産となっている、お隣・青森と秋田の縄文遺跡にも出かけてみましょう。

日本最大級のストーンサークル

秋田県鹿角市
おおゆかんじょうれっせき
大湯環状列石

出土品

野中堂 日時計状組石
組石が日時計に見えることと、東西南北に置かれた石が特徴です。
※資料提供「鹿角市教育委員会」

大湯ストーンサークル館

秋田県鹿角市十和田大湯字万座45 ☎0186-37-3822
 園9:00~18:00(11~3月は16:00閉館) 園4~10月は無休、11~3月は月曜(祝日・休日の場合は翌日)、年末年始
 園大人300円、子ども100円(4月から大人320円、子ども110円)

芸術性ある出土品に触れよう!

青森県八戸市
これかわせつきじだい いせき
是川石器時代遺跡

是川石器時代遺跡は3つの遺跡の総称で、縄文時代晩期の亀ヶ岡文化を中心とする遺跡です。埋蔵文化財センターでもある是川縄文館では、国の重要文化財を含む数多くの貴重な出土品を展示しており、縄文文化成熟期の優れた土器や土偶、生活用具などを見ることができます。このほか風張1遺跡で見つかった、座った状態で手を合わせる国宝「合掌土偶」は必見。春には、縄文館周辺で桜も楽しめます。

是川縄文館常設展示
美術工芸のような出土品が展示されています
※資料提供「八戸市埋蔵文化財センター-是川縄文館」

八戸市埋蔵文化財センター-是川縄文館

青森県八戸市大字是川字横山1 ☎0178-38-9511
 園9:00~17:00(入館は16:30まで) 園月曜(第1月曜、祝日・休日の場合は開館)、祝日・振替休日の翌日(土・日曜を除く)、年末年始 園一般250円、高校・大学生150円、小・中学生50円



九戸城本丸・二の丸



本丸に残る野面積みの石垣



春には満開の桜が城跡を彩ります

二戸市 くのへじょうあと 九戸城跡

三方を川に囲まれた
天然の要塞

九戸氏の居城として明応年間（1492〜1501）に築かれたと言われる九戸城。天正19年（1591）、豊臣秀吉の天下統一最後の合戦場になりました。この戦は「九戸政実の乱」と呼ばれ、九戸城主である名将・九戸政実が、5千の兵を率い、6万5千の豊臣軍を始めとする討伐軍と戦った場所です。

平成29年に公益財団法人日本城郭協会が定める「続日本100名城」に選ばれた九戸城は、西を馬淵川、北を白鳥川、東を猫淵川に囲まれ、それぞれの川までの落差は約20m、傾斜角45度の断崖となっており、その姿はさながら天然の要塞。現在は石垣と空堀が残るのみですが、今でも往時の城の堅固な守りをその地形から想像することができます。桜の名所としても知られ、4月後半には美しい桜が咲き誇ります。



※資料提供「二戸市教育委員会」

九戸城跡のお問い合わせ

岩手県二戸市福岡字城内
☎0195-23-3641
(二戸市観光協会)



こちらも
チェック!

ごじょういん 知っていますか? 「御城印」



今、城の名と家紋をあしらった「御城印」が、お城を訪れた記念として人気を集めています。国史跡で「日本100名城」の根城がある八戸市教育委員会が呼びかけ、7市町教育委員会で組織する南部「御城印」プロジェクトで企画しました。県内では九戸城（二戸市）、久慈城（久慈市）、鍋倉城（遠野市）の3城で販売。1枚300円で、それぞれ二戸市埋蔵文化財センター、道の駅くじやませ土風館、遠野市立博物館で購入できます。また、青森県鯉ヶ沢町の種里城では、令和2年限定で、南部（大浦）光信の入部530年を記念したスタンプ付きの御城印を光信公の館にて販売中。城めぐりの楽しみの一つにしてみたいはいかがですか？



南部氏ゆかりの御城印を販売する7城

久慈市と縁の深い

青森県鯉ヶ沢町 たねさとじょう 種里城



平成30年には、久慈市と鯉ヶ沢町が「歴史文化で結ぶ友好協定」を締結

「津軽藩発祥の地」といわれる青森県鯉ヶ沢町の種里城は、実は久慈市と縁の深いお城。延徳3（1491）年、久慈郡の領主だった南部（大浦）光信がこの地の統治を任せられ種里城に入部。大浦氏を継いだ5代目の為信が豊臣秀吉から津軽郡の支配を認められ「津軽氏」を名乗るようになりました。

史跡内にある資料館「光信公の館」の前庭には津軽氏の家紋にちなんだボタン園があり、5月下旬に見頃を迎えます。



種里城跡のお問い合わせ

青森県西津軽郡鯉ヶ沢町大字本町209-2
☎0173-72-2111 (鯉ヶ沢町教育委員会)

光信公の館

青森県西津軽郡鯉ヶ沢町大字種里町字大柳90
☎0173-79-2535
図5〜10月の金・土・日曜に開館、9:00〜17:00(9・10月は16:30閉館)
図大人300円、高校生220円、小・中学生150円



数百メートルに渡って豆地藏が並びます

一体ごとに表情があるよ



国指定重要文化財の本堂（保存修理前の写真）

二戸市 はちようざんてんだいじ 八葉山天台寺

「平成の大修理」も
いよいよ終了

神亀5年（728）、奈良時代に開山したとされる東北屈指の古刹・天台寺は、東北の仏教文化の拠点といわれています。平成25年から続けられてきた本堂と仁王門の大規模改修が、いよいよ3月に終了予定。この春から参拝が可能となります。なお、6月21日には、落慶法要が予定されています。

国指定重要文化財に指定されている御本尊「聖観音立像」や「十一面観音立像」など貴重な文化財も多い天台寺ですが、境内のあちこちにある「豆地藏」を探しながら散策するのもおすすめです。伐採された杉の木の供養のため、切り株に祀られていることが多いそう。かわいらしい姿に心癒やされます。



天台寺のお問い合わせ

岩手県二戸市浄法寺町御山久保33-1
☎0195-38-2500
図9:00〜17:00(入館は16:30まで)



県北広域
トピックス
2020

引き続き復興に取り組みながら、お互いに
幸福を守り育てる
希望郷いわて

産学官・異業種連携で未来を拓く
県北の新たなネットワークを設立



県北地域の高い女性の就労比率や豊富な地域資源の特性を生かし、女性活躍や子育て支援等による人材確保、未来技術（AI・IoT等）や経営革新による産業振興を図るため、令和元年10月、産学官・異業種連携による「北いわて未来づくりネットワーク」が設立されました（令和2年2月現在…79会員）。

設立記念講演会では、産学官140名が出席し、設立の背景や目的、今後の取組を産学官で共有、「働くなら県北、育てるなら県北、暮らすなら県北」をスローガンとした取組が始動しました。今後、女性活躍や未来技術など先進事例の異業種波及、産学官連携による協働研究の地域実装、企業の人材確保へ向けた合同研修会等を通じて、地場産業の競争力強化を図ります。

ネットワークの代表で宮城建設株式会社の竹田和正代表取締役社長は、「個々の企業では、やる範囲が限られます。共創によって、単体では生み出せなかった新しい価値、自分たちの新しい形を作り出したい」と、地域の未来を見据えます。



産学官・異業種連携で県北の未来を切り拓く



未来技術の活用について講演した
岩手県立大学
総合政策学部
准教授 近藤信一氏

ネットワークの申込み・
お問い合わせ先

県北広域振興局経営企画部
TEL.0194-53-4981
二戸地域振興センター
TEL.0195-23-9205

カーリングを楽しく学べる
初心者向けのスクール開催



二戸地域で盛んなカーリングは、年齢性別を問わず楽しめるスポーツです。今シーズンは競技人口拡大を目的に、小学生以上の初心者を主な対象とした「ジュニアカーリングスクール」を県北青少年の家スケートリンクで開催しています。管内の若手カーリング愛好者団体「ミライリンク」が主催し、二戸市出身でソチオリンピックカーリング女子日本代表の苫米地美智子選手が、特別講師として指導に当たっています。

ミライリンク代表の高田将洋さんは「未経験者でも1時間ほどの練習でミニゲームまでできるほど気軽に楽しめるのが、カーリングの魅力です。二戸地域からオリンピックを目指す選手が誕生することも期待しています」と話します。スクールは3月で終了しますが、来シーズンも実施予定です。地域で盛んに行われているスポーツを気軽にやってみませんか。



未来のカーリング選手誕生に期待



初心者でも安心して基本から学ぶことができます

お問い合わせ先

県北広域振興局 二戸地域振興センター TEL.0195-23-9205

地元の酒米と醸される日本酒の
素晴らしさを知るシンポジウム



県北地域では地域の特性を生かしながら、農林水産業や企業の支援、まちづくりの活動など、魅力あるふるさとを創造していくため、いわて県民計画（2019～2028）地域振興プランに基づく取組を進めることとしていきます。

県北地域では特色ある米づくりに積極的に取り組んでいます。

2017年度、県オリジナル品種の酒造好適米「ぎんおとめ」を原料とした日本酒「南部美人特別純米酒」が、権威あるコンテスト、インターナショナルワインチャレンジ（IWC）2017において、「チャンピオンサケ」を獲得し、世界一に輝きました。そこで、北いわて産の酒米の生産拡大や品質向上に弾みをつけるため、関係者が一堂に会しての「北いわて酒米シンポジウム」が、昨年11月に開催されました。

「北いわて産の酒米と醸される日本酒の素晴らしさ」をテーマとしたパネルディスカッションでは、地の酒米で仕込む日本酒を通して、地域の誇れるテロワール（その土地の個性）を世界に発信する価値が語られ、参加者は産地の魅力に理解を深めました。最後に、酒米生産者により大会スローガンが力強く宣言され、盛会のうちに幕を閉じました。



「世界に認められる日本酒の基盤をつくります」と力強く宣言

お問い合わせ先

県北広域振興局
二戸農林振興センター
TEL.0195-23-9203



パネルディスカッションで意見を交わす参加者



ルテイン豊富な機能性表示食品 寒じめほうれんそうをPR



久慈地域の特産品である「寒じめほうれんそう」には、目に良いとされる「ルテイン」が豊富に含まれています。昨年7月、ルテインの機能性表示の届出が消費者庁に受理され、生鮮食品では県内で初めての機能性表示食品として販売されています。

寒じめほうれんそうの特長や機能性、美味しさを知ってもらうため、昨年12月から3回にわたり、県内のスーパーで「寒じめほうれんそうDay」と称する試食・販売会を開催しました。参加者は寒じめほうれんそうが目の健康維持に役立つと知り、関心を寄せている様子でした。

機能性表示は産地全体の盛り上げにもつながり、作付面積は前年比で141%に拡大し、販売額も伸びています。寒じめほうれんそうの生産は冬季限定ですが、それ以外の期間でも食べていただけるよう、加工品の開発も進めています。皆さんもぜひ寒じめほうれん草を味わってみてください。



消費拡大のため店内にコーナーを設置



加工品利用のための粉末化も実施



寒じめほうれんそう PRキャラクター「寒次郎」も登場

お問い合わせ先

県北広域振興局 農政部農業振興課
TEL.0194-53-4983

地域の未来づくりにつながる 子どもたちの文化芸術体験



子どもたちが文化芸術活動を体験する

「北いわて・子どもアートタッチプロジェクト「久慈」」を、1月18日に久慈市文化会館アンバーホールで開催しました。

参加したのは、久慈地域4市町村の小学校3年生から6年生までの児童と保護者約30組です。琴、ステンドグラス、茶道、ジャグリング、

太鼓の5分野を体験したほか、郷土料理であるまめぶやそばの昼食も楽しみました。子どもたちからは「初めてだらけですが楽しくかった」「普段はやらないことの体験ができてとてもよかったです」「これからもこのイベントを続けてほしいし、また参加したい」などの声が聞かれ、様々な文化芸術に親しみ、理解を深めた様子でした。



上手に完成してにっこり



おひなさまを題材にステンドグラスを作成



みんなの前で「さくら」を披露



お茶菓子は椿をイメージしたねりきり

お問い合わせ先

県北広域振興局経営企画部文化スポーツ振興担当
TEL.0194-53-4981

安心した生活を送るために 知ってほしい成年後見制度



成年後見制度とは、認知症や知的障がい、精神障がいなどで判断能力が不十分な方の「財産」や「権利」を保護する制度です。例えば、預貯金の管理や相続手続、介護・福祉サービスの利用契約など、本人だけでは手続が困難な場合に、法的な代理人を選任して財産の管理や契約等の締結をサポートし、安心して生活できるようにするためのものです。

二戸地域の成年後見制度の相談窓口の一つ、カシオペア権利擁護支援センターでは、少しでも楽しく学べるように演劇で成年後見制度を紹介するなど、様々な啓発活動にも取り組んでいます。

同センターの小野寺幸司所長は「成年後見制度は、財産の有無に関わらず、支援が必要な方は誰でも利用できる制度です。生活での様々な困りごとに関係機関と連携して対応しますので、何でも気軽に御相談ください」と呼びかけます。そのほか、地域包括支援センター、障がい者相談支援事業所、社会福祉協議会などでも相談できます。



難しいイメージの成年後見制度を楽しく学ぶことができる演劇



パンフレットは各相談窓口を設置

お問い合わせ先

特定非営利活動法人カシオペア権利擁護支援センター
二戸市石切所字川原 46-1
TEL.0195-43-3042 相談時間/月～金曜 8:30～17:30
久慈地域成年後見センター
久慈市旭町 7-127-3 (久慈市総合福祉センター内)
TEL.0194-53-3380 相談時間/平日 8:30～17:15

注目しよう！
食べよう！

北いわての
3つの
おいしい
お肉

★★★

豊かな自然と清涼な環境に恵まれた北いわては、牛・豚・鶏の3つのおいしいお肉の産地です。
それらの中には、飼料や飼養方法などにこだわったブランド肉がたくさんあります。
地域の生産者が丹精込めて生産したお肉を、地域に住む私たちみんなでおいしくいただきます。



岩手県の地鶏「南部かしわ」

鶏肉

低カロリー・高タンパクで、ビタミンA・KやビタミンB群など数種類のビタミンが含まれています。岩手県は、鹿児島県、宮崎県に次ぐ全国第3位の生産量を誇ります。県内生産量では九戸村(1位)、洋野町(2位)、二戸市(3位)と北いわての市町村が上位を占めています。それぞれオリジナルの配合飼料で育て、可能な限り抗生物質を使わない点は、生産者のこだわり。肉用若鶏の親にあたる種鶏は「熟れ鶏」としても販売しており、若鶏とは異なる歯ごたえや肉・出汁の旨さに注目が集まっています。

また、県畜産研究所が開発した「南部かしわ」は、おいしさや岩手県のオリジナル性を高めるため、県北に由来のある天然記念物「岩手地鶏」を原種鶏として利用し開発されたものです。

牛肉

美容効果が高いビタミンB群、貧血予防が期待できるヘム鉄、脂肪燃焼に効果的なカルニチンを多く含みます。

北いわてが産地の一つである「いわて短角和牛」は、日本短角種の希少な牛で、春から秋にかけて高原などに放牧する「夏山冬里」方式で飼育されます。その肉はサシが少なく赤身主体で、低脂肪でアミノ酸が豊富。そのため、健康志向の現代人の間で特に人気が高まっています。また、かむほどに牛肉本来の旨みを味わうことができる点も特徴です。



「夏山冬里」方式で、のびのび育てます

豚肉

疲労を予防する、糖質をエネルギーに変える、皮膚と粘膜を健康に保つなどの効果が期待できるビタミンB1が豊富です。北いわてのブランド豚には、「おいしく安全な豚肉を食べてもらいたい」という生産者の思いが凝縮されています。飼料、水、豚舎の衛生環境などにこだわり、ストレスを与えないよう愛情込めて育てています。それにより、肉質のキメが細かい、脂が甘いなど、付加価値の高い豚肉をつくり出しています。



衛生環境にこだわり飼育しています

読者プレゼント

アンケートにお答えいただいた方の中から、抽選で10名様にプレゼント!!



三鉄グッズ専門店さんてつや
クロジカせんべい2箱セット

醤油味・塩味 各2個入り×2箱
三陸鉄道株式会社

経営の「黒字化」達成への願いを込めて発売した、三陸鉄道のオリジナル商品です。岩手県産の雑穀と普代村のすき昆布、陸前高田市の八木澤商店の醤油を使用したサクサクと香ばしい味わいの醤油味と、三陸産のイサダ、わかめ、宮古の塩を使用した塩味の2種類をセットでお届けします。

応募方法

【送り先】 はがき 〒028-8042 久慈市八日町1-1
県北広域振興局「北いわて最前線アンケート」係
FAX 0194-53-1720 電子メール BK0001@pref.iwate.jp
【締切】 令和2年4月17日(金) 消印有効

「北いわて最前線」を最後までお読みいただき、ありがとうございます。
今後より一層、誌面を充実させるため、読者の皆様の「声」をお聴かせください。

- 1 今回の記事に興味を持ったものは何ですか？(番号で回答、複数回答可)
 - ①表紙 祝！三陸ジオパーク、再認定
 - ②特集1 台風第19号の被害からの復旧へ向け全力で取り組み中!
 - ③特集2 歴史を学ぼう!春のお出かけスポット
 - ④県北広域トピックス2020
 - ⑤注目しよう!食べよう!北いわての「3つのおいしいお肉」
- 2 本紙への御意見・御要望や、今後掲載してほしい内容がありましたら、御自由にお書きください。
- 3 県北広域振興局に対する御意見・御要望がありましたら、御自由にお書きください。

※ 回答は、右の二次元バーコードを読み込んで応募フォームから御応募ください。なお、はがき・FAXでも御応募いただけますので、住所・氏名・年齢・性別・電話番号をお書きの上、お送りください。



スマートフォン用

岩手県 県北広域振興局全世帯配布広報誌 (令和2年2月発行)

編集・発行

県北広域振興局経営企画部
〒028-8042 岩手県久慈市八日町1-1 TEL: 0194-53-4981(代) FAX: 0194-53-1720 E-mail: BK0001@pref.iwate.jp

